SSKW 2002年4月23日第三種郵便物認可（毎月3回5の日発行）
2016年2月12日発行ＳＳＫＷ増刊　通巻第3831号

こぶしだより

ぐっとくるま

Vol.374　2016・2・12発行

第2けやき作業所（芳賀）

●新春@書き初めで綴る一年の思い…1-6
●400字で語る福祉 ㉜吉成寿美子（法人事務センター） ㉝手塚良浩（第2けやき作業所）…10-11
●食道さんぽ【エルム福祉会 hikari no cafe】…8-9
●平成27年度実践交流会報告…7、10-11
●報告 県東真岡、けやき作業所 …12
●ギャラリーこぶし…13
●こぶしづかん…14
●連載【社会モデルを地域文化に18】…15
●事業所一覧 ●ちえぶくろう…16

第2けやき作業所（芳賀）

♥本年仕事始めの1月4日。「新年の抱負」ということで、みんな色々と頭を捻ひねって書初めに挑みました。「これって抱負？」とか野暮なことは言いません。みんな楽しく今年一年のスタートが切れて良かったと思います。

第2けやき作業所の年男・年女は5人（職員1人）。そば茶屋の仲間は書初めを行わなかったので、第2けやき作業所本体の3人にインタビューしました。

上村涼太さんの今年の抱負は「作業をがんばって就職したいです！」とのことで「**就職**」と力強く書いてました。

つづいて、**羽石真理**さんは「チャンスをつかむ。今年は何か来る気がします！」とお話ししてくれました。でも書初めは櫻井翔…かっこいいもんね。

そして、最後は職員の**大塚秋穂**さん。「今年の抱負は《**頑張り過ぎない事**》昨年は、私にとっては人生の転機になる事がありましたが、自分への試練と頑張り、乗り越えることが出来ました。今年はピンチをチャンスに変えて、素敵な一年にしていきたいです。」とコメントをいただきました。

本年は申年。申年の人は「場を明るく盛り上げ、頭の回転が早い人」だそうです。ただ、クセモノも多いとか。行動力があるのも特徴で、今年はその行動力を生かして第2けやき作業所を盛り上げて行って頂ければと思います。

最後に「第2けやき作業所」を代表して皆様に一言。

本年もどうぞよろしくお願いいたします！（北川）

県東ライフサポートセンター真岡

県東真岡は年男・年女は残念ながらおらず、**本橋皓**さんに今年もご登場願いました。本橋さんは嬉しいことに大和製罐㈱へ一般就労が決まり、翌日が初出社という中での書き初めでした。「沖縄」って昨年も見たような気がしますが…。「野外炊飯もしたいです！」とも話してくれた本橋さん。お金を貯めての沖縄旅行もそう遠くない未来に叶うのではないでしょうか。お仕事がんばってください！（**松本**）

けやき作業所（芳賀）

けやき作業所も年明けすぐに皆で書き初めを行いました。今年は年男・年女の中から3人の紹介です。

パン班の**渡邊景子**さん。可愛い絵をかいてくれました。今年はなにを頑張りますか?と質問すると、少し考えて「喫茶部を頑張ります」と意気込んでいました。

生活介護班の**藤平義章**さん。書初めの日は少し緊張した様子で筆をとりました。力強く「げんき」と書いてくれました。本人も「今年は元気に頑張る！」と話していました。

パン班所属の**見目アイ子**さん。何度目の年女かは内緒だそうで、愛嬌のある絵を描いてくれました。今年の目標は?と聞くと「元気にパン販売を頑張ります」とのこと。

上三川ふれあいの家ひまわり

下請け班でパン販売や米菓子の袋詰めなどの作業を行っている**町田勇夫**さん。「体重をマイナス20㎏！目指せ80㎏！。そして頼りになる男になる」。体重を減らすよう努力をして成果が出れば見た目もガラッと変わり、男らしく！頼られる存在になりたいそうです。

年女の職員さんにもお話を聞きました。

深澤亜希子さん。本厄だそうで今年の抱負としては「1年平和に過ごしたい」。平和に過ごせるように落ち着いて過ごすことが一番と考えているそうです。ファイト！

星野早苗さん。「病気せず、元気に1年を過ごす」。健康で過ごせることが第一ですよね。健康と書いている方が多かったですね。

永盛真琴さん。「感謝の気持ちを忘れずに過ごす」。もうすぐ産休でお休みに入る予定の永盛さん。感謝の気持ちをもって仕事に取り組んでいることが素敵ですね。**（富山）**

難波隆司さん…健康に気をつけて、今年もパン班で頑張ります。
難波惇史さん…今年もベアリング班で仕事を頑張ります。
大森奈津美さん…自治会活動や、パン班で活躍したいです。毎日楽しく過ごして良い年にしたいです。
荒井明良さん…元気いっぱい、いい一年にしたいです。
山崎雄司さん…笑顔いっぱいの一年にしたいです。

こぶし作業所（宇都宮）

毎年恒例の書初めは、所長の挨拶から始まりました。今年も明るく楽しい一年になるように、思い思いの書き初めをしました。

セルプ・みらいでは、みんなの書初めを台紙に集めました。今年は、生活介護の墨絵にみらい和紙で彩を加えたポスターも一緒です。一年の目標を胸に、さあ、今年も頑張ろう。

新年への意気込みを力強い筆づかいで表現してくれています。パワフルな**勝田さん**らしい勢いのある作品です。今年も仕事とレクレーション、両方をしっかりと楽しめる年にしましょう。

職員も書初めしてみました。お題は、新年の目標を１文字で表現すること。何を書こうか迷うあまり寝不足になった職員もいるとかいないとか。結果は、写真の通りですがご覧の通り意味は聞いてみないと分かりません。ちなみに私の文字は「進」。その心は編集後記にてご確認下さい。（渡辺）

セルプ・みらい（真岡）

思わず日本酒の銘柄かと思いきや自分の名字を書いた**久保田さん**。会心の一作に「やったぞー」と満足そうです。

笑顔や笑いをテーマにした方を集めました。それぞれの文字からは、個性的で楽しそうな雰囲気が漂います。どの「笑」もとっても魅力的ですね。那花さんは夢を追い、笑顔が多い一年にしたいとの思いを込めました。秋山さんは、お笑いを通してみんなを笑顔にしたいとの気持ちを表しています。さすがみらいのムードメーカー。矢田さんは、笑顔を心掛けたいそうです。その理由は、仕事では笑顔が大事だからとのこと。仕事に焦点を当てるその姿勢、大事にしたいですね。

こぶしの会
実践交流会
報告①

日々の実践を持ち寄って交流し高め合う
また、新しい知識と意識を獲得するために

平成27年12月19日、恒例の「全職員実践交流集会」が催されました。午前の部は、基調シンポジウムとして、「障がい者福祉の専門性とはたらきがい」をテーマに当会の理事であり、**栃木県社会福祉士会会長の檜山光司**氏と、当会の評議員であり、**チャレンジドコミュニティ理事長である金井光一**氏の講義を交えフロアとの活発な意見交換がなされました。

今回こぶしだよりでは午後に開かれた分科会の様子を報告します。

分科会とテーマ

第１分科会 利用者のはたらくを支援する	**第２分科会** 自立の願いと自立を支援する生活支援
第３分科会 持続可能な経済活動、魅力ある経済活動をどうつくっていくか	**第４分科会** 障がいの重い子どもたち・ひとびとの発達と活動作り
第５分科会 障がい者を支える事業所・地域づくり	**第６分科会** 障がい者支援の基礎知識

第一分科会

テーマは「利用者の働くを支援する　～就労支援の取り組みを学ぶ～」。

主題として「ワークサンプルの活用　～ＭＷＳ（ワークサンプル幕張版）の活用とその視点～」という内容で分科会を行いました。

講師にＮＰＯ法人「**東松山障害者就労支援センター**」**の理事若尾勝己氏**をお招きして、法人内でも導入を検討しているＭＷＳ(ワークサンプル幕張版)について、「ワークサンプルの活用～ＭＷＳ（ワークサンプル幕張版）の活用とその視点～」の主題のもと講演していただきました。

全国での障がい者雇用の現状の説明、企業側に求められている「合理的配慮」とは等の最新の情報から、東松山障害者就労支援センターでは、ＭＷＳをどのように活用しているのかを映像も交えてご紹介いただきました。特に重要なポイントとなったのは、「アセスメントの重要性」についてです。利用前後のアセスメントが、就労支援にとってはとても重要なポイントであり、「職業準備性の向上」という就職に向けた実践的な訓練の在り方など、勉強すべき課題に気づくことができました。（北川）

第二分科会

自立の願いと自立を支援する生活支援

「自立の願いと自立を支援する生活支援」と題し、講師として**特定非営利活動法人自立生活支援センターとちぎの永田様**をお招きして生活支援の必要性や利用者権利や願いから考えるために、利用者アンケートの作成をグループワークで行いました。

利用者の気持ちを知ること、今後の支援に生かせることを念頭に入れ、ＫＪ法を用いて意見を集約しました。永田様より当事者からの意見も伺い、支援をしていく中で、今の気持ち、過去の気持ちを知ることは、信頼関係をつくる大きな役割を果たしてくれることに改めて気づき、このアンケート実施することで、より信頼関係を結ぶためのきっかけになるとよい良い質の向上に繋がっていくと思いました。（川田）

（つづきは10ページ）

さんぽ

９年連続で一般就労達成
妥協しないお店づくりで絶品揃い
清潔で落ち着いた店内も◎
４月に２号店もオープンします

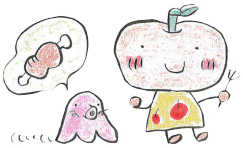
に行ってきました～

２種類のランチの中から、「薬膳キーマカリーセット」（￥1200）を頂きました。（キーマカリーに＋ドリンク＋ハーフケーキ or ジェラート２種）

松本はたくさん種類があって迷う中、キャラメルモカをドリンクに、デザートはレアチーズケーキ＆ストロベリー、完熟バナナの人気のジェラート２種を選びました。

料理の特徴、感想：

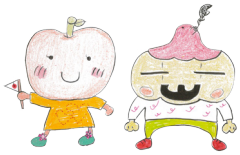
・一つ一つの素材へ徹底したこだわりを持っているようです。
・なるべく国産、地元産のものを使う、添加物を使わない
・お米は湯津上産コシヒカリ
・ひき肉は国産ブランド品使用
・野菜も地元産使用で、多くの種類がありました。
・卵は那須御養卵を使用
・印象的だったのは、ピーマンがとても甘かったこと。正直、ピーマンは嫌いな松本ですが、これは美味しく食べられました。
・ジェラートも、香料を使用しない自然な味わいで人気も頷けます。



パッと見ではさほどボリュームは感じませんでしたが、食してみると見事なまでの満腹感。
もう一つの「パンプレート」もあわよくばいただこうかと考えていましたが、あえなく断念、またの機会にしたいと思います(^^)
1200 円の価格に十分見合った内容で、リピーターが多いのも納得です。
これは美味い！　来た甲斐がありました。

食道

久々に食道さんぽを担当した松本が、社会福祉法人「エルム福祉会」の運営する「hikari no　cafe」にお邪魔しました。
平成17年12月に大田原市に開店してから、素材にこだわる姿勢を貫いている素敵なお店。
取材を忘れて食事に没頭してしまいました。



hikari no cafe

働いているメンバーについて：

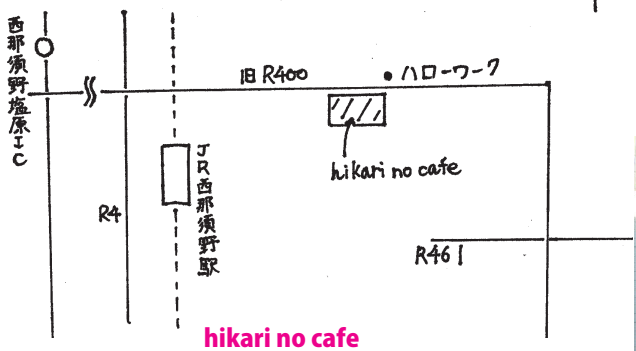
スタッフとして、一般就労を目標としている方が常時４人いらっしゃいます。
「働きたい人はどんどん送り出していこう、そしてまた新しい人をどんどん育てていこう」という考えのもと、今まで９年連続で１４人の一般就労者を送り出しているそうです。

スタッフの渡邉さんにお話をうかがいました：

「福祉施設という形でなく、**一般のお店と同じようにやる**んだ、という姿勢です。福祉というところに甘えてしまうとどんどん妥協してしまい、リピーターも増えなくなるので、商品に妥協しない。クッキーやスコーンも少しでも形が悪いものは使わない。お客様の立場に立ったら、そんな商品買わないから…。」というのが開店以来変わらない考えだそうです。
　そして渡邉様からもう一つアピール
４月に２店舗目がＯＰＥＮ予定で、現在出店準備中だそうです。
場所は旧黒羽町・蜂須小の廃校舎を利用するとのこと。
「ここで扱っていないメニューも出して、ランチも充実させたいので楽しみにしていてください」と話してくださいました。

人気のスコーン
塩・全粒分・黒糖と栗
各３個入り４３０円

MAP



hikari no cafe
〒３２４－００４１
●栃木県大田原市本町１－２７０１－２３
●ＴＥＬ／ＦＡＸ　０２８７－２３－２２２７
●ＯＰＥＮ　１０：３０～１７：３０
●定休日　日・月曜日　駐車場あり

400字で語る福祉

◎吉成寿美子さん（法人事務センター　センター長）

私の心の中にある福祉の原点エピソードです

10年程前のことです。栃木県自閉症協会の一泊旅行でのこと。環境の変化がとても苦手な小学校低学年の男の子が、環境の変化にも少し耐えられるようになったのでと、お母様と参加をされました。ある道の駅でのトイレ休憩でのことでした。そこは多目的トイレが無いので、男の子一人でトイレに入らなければなりません。初めてのトイレ、不安な思いがいっぱいだったでしょう。入り口まで行っては中を覗くことを何度も繰り返していました。すると見守っていたお母様のところに見知らぬ男性が来て「僕が一緒に入るから大丈夫ですよ」と、なかなかトイレに入れない男の子の行動にずっと付き合ってくれました。そして、その男性と一緒に、やっとトイレに入り出てきた男の子の頭をクシャッと撫でて「よく頑張ったね」と言って立ち去ったのです。バスの中でお母様からこの話を聞いた時、とても感動をしました。私の心の中で「福祉の原点」と大切にしている出来事のひとつです。

第三分科会

就労継続支援B型で働く障がい者への支援について改めて振り返りを行い、こぶしの会が支給している工賃は県内でも低い位置にある現状を知りました。

そこで、まずは各事業所で取り組んでいることについて意見交換し、出てきたアイディアを今後整理していく必要があることが確認されました。そして、工賃アップのための努力を各事業所で実施するということが全体で共有されました。また、工賃について、そもそもどういった形が適当なのか、どのような手当があったら良いか等の工賃規定についての見直しも検討していくことが宿題として確認されました。（冨山）

第四分科会

「障がいの重い子どもたち・ひとびとの発達と活動づくり」がテーマの第4分科会。年齢層が異なるモデルケースについて、のざわ特別支援学校の**福田仲教頭先生**にご講義いただきました。また、講義の演習として年齢層が異なるモデルケースについて、ICF（国際生活機能分類）を活用し個別支援計画書の作成のグループワークを行いました。ICFは人が生きることの全体像を把握するためのモデルですが、特にICF整理シートを活用しながら話し合うことで、その人がどのような人なのか、何を求めているのかが少しずつまとまっていき、それをグループで個別支援計画書に反映することにより深い実践ができた交流会となりました。

また、他事業所の職員同士が同じテーマを持って議論できたことで職員相互の理解も深まったのではないかと思います。（渡辺）

第五分科会

「当事者・家族のQOLを高め社会参加を広げる。それを支える地域・事業所とは」をテーマに「障がいを支える事業所・地域づくり」について、第5分科会が行なわれました。

2つの基調レポートの後に、「単身で地域に暮らしている方の相談ケース」についてのグループワークを行いました。相談支援業務に携わっている職員を中心に、運転手、グループホーム職員等の多職種が集まったグループワークは、利用者のニーズの実現のために、地域を巻き込んだネットワークについて考え、課題の抽出から具体的な支援策の提案、社会資源の開発まで、明日からの実践に活かせるようなアイディアが多くだされ、実りある分科会となりました。（星宮）

第六分科会

第６分科会は、新任職員や初めて福祉の職場で働く職員が、助言者にアドバイスをいただき福祉の現場で働くことに少しでも希望を見出すことを目的にした分科会でした。助言者として、心理学者の**片桐雅義先生**と、こぶしの会の評議員・第三者委員でもあり福祉実践の大先輩でもある**木滑シズ子先生**をお招きし、自分のモチベーションを上げる方法や、支援の基礎的な方法の具体的な助言をいただき、参加者全員が共感を得ることができ有意義な分科会となりました。

今回は、福祉の現場での勤務が平均８ヶ月の14名の職員の参加でしたが、ほとんどの職員が日々の支援の中で、悩みを持ちながらも利用者さんとの心温まるエピソードを持っており、毎日楽しく仕事をしているとのことでした。分科会後のアンケートでは、今回学んだことを実践に生かし、利用者さんの立場に立った支援をしたいと多くの職員が述べていました。（吉成）

がんばるデイ（12/5）

道の駅しもつけにてがんばるデイが開催されました。がんばるデイはきょうされん主催の署名・募金活動で、仲間の現状や要望を国会に伝えるための大切な活動です。今回は、日本が批准した障害者権利条約に沿った国内法の整備を求め「あたりまえに働き、えらべるくらしを　～障害者権利条約を地域のすみずみに～」の実現を目的に行いました。当日は強い風で肌寒く、緊張で表情が硬くなっていた仲間も大きな声で署名を求めているうちに次第に暖かく緊張もほぐれてきたようでした。又、「寒い中大変だね。がんばって！」「募金しました。寒い中お疲れさま。」など暖かい言葉をかけていただき、みんな最後までがんばることができました。今回、国会請願の署名や募金を集めるために男性30名、女性16名、計46名が集まりました。慣れない署名・募金活動に戸惑いながらもがんばった結果は、署名２２８筆、募金額２５２５８円でした。ご協力いただいた皆様に暖かさと力をいただいた１日でした。皆様、ありがとうございました。（永瀬）

障がい者啓発セミナー（12/12）

相談支援センターのどかの主催により、「広がれ、障がい者サポーター・地域へのメッセージ」と題して、「障がいがあっても生き生きと地域で暮らすこと」をテーマとしてセミナーを開催しました。今回は、精神障がいにスポットをあて、当事者のメッセージから考えていき、85名（約１００名、１００名弱）の方にお越しいただきました。

精神障がいの息子さんを27年間見守ってきた家族の思いを**飯野スミ**氏（真岡市精神障がい者家族会会長）にお話しいただき、当事者であり足利こころのピアサポート「**ゆいまーる**」の**影山代表**からは、自分の経験から自助グループの必要性と地域のつながりの大切さの話がありました。お二人とも共通のメッセージは、家族や地域など周囲の方の理解や支えがあれば、自ら動き出すことができる。そして、自分らしく生き生きとできるというメッセージでした。当事者の声は、リアルであり、胸に響くものがあります。地域で共に支えあうことが、そこに暮らす人の安心感や存在感に繋がり、生きる意欲を高めるのであろうと思います。障がいがあるなしに関わらず…。（仁平博美）

400字で語る福祉

◎手塚良浩さん（第２けやき作業所　主任）

今、何ができるのか？もう少し経験と学習が必要かな。

福祉とは弱者を社会的に保護する仕組みの事と捉えています。

障害を持たれている方、１人１人の障害を取り除くことで、健常者と同じような生活が営めること、本人の自立を促すことが良いとされるが、そば茶屋では、利用者に全てを任せると商品価値、提供時間に支障をきたしてしまう。

過度の支援をすることにより、本人の出来る事を出来ないに変えてしまう事もある。

時間に余裕が無い事や手が回らない事を理由に利用者さんとのコミュニケーションや支援を怠ってしまう事があるなど、人の為に何かしたいと思い入った福祉業界だが、時折、自分は福祉には向いていないのでは？今の自分がどこまで出来ているのか？と疑問を感じる。

県東 LSC 真岡

11 月 21 日 (土)、県東ライフサポートセンター・真岡では秋の自治会旅行を行ないました。
今年の行き先は足利。あしかがフラワーパークが偶然にもこの日は無料入園日にあたっており、参加メンバーは心ゆくまま自然を満喫していました。当日は園内で「足利グルメグランプリ」が行なわれており、３時間煮込んだチャーシューが入っている「厚切りチャーシューメン」、安くて美味しい「とり皮のから揚げ」などのグルメに舌鼓を打ちました。その後も史跡・足利学校を歩いたり道の駅たぬまで足湯を楽しんだりと、日常から離れて笑顔あふれる一日となりました。（松本）

報告

芳賀地区事業所

いざというときの備えに

平成 27 年 11 月 28 日、けやき作業所において、消防本部芳賀分署の講師２名をお迎えして普通救命講習が実施されました。

出血時の止血法や喉に異物が詰まった時の対処方法、心肺蘇生や AED の使用方法など、実際に起こりえる事故や病気に備えて実践的な講習を行っていただきました。

使う機会がないことが一番ですが、いざという時には学んだことを活かせるように、気の引き締まる講習となりました。（北川）

みらい 県東 ひまわり

日産労連主催のクリスマスチャリティーミュージカル劇団四季によるミュージカル「人間になりたがった猫」に法人内より３事業所がご招待いただきました。

ミュージカルは、魔法使いに飼われている猫が人間の姿になり、人間の町で色々な出会いや経験をへて身も心も人間になるという物語で、物語もさることながら歌と踊りに迫力があり感動的でした。さすがは劇団四季！デレビでは味わえない臨場感にじっと舞台に見入り、感動のフィナーレに多くの仲間達が歓声を上げていました。「大好きな子と一緒にミュージカルが観られて良かったです」と、普段体験できない思い出をつくる機会をいただいた　日産労連の皆様、楽しく感動的な時間をいただきありがとうございました。（渡辺）

GALLERY KoBuShi

深まる秋、自然をたくさん絵にしよう

放課後等デイサービスたんぽぽにお邪魔させていただきました。

秋の森に出かけ、足の下で音を立てている落ち葉や木の実を集め、その個性を生かして皆で一つのものを完成させることを目標に創作活動を行いました。

曜日毎に散歩しながらどんぐりや松ぼっくりなど材料集めを行い、自由な発想の元、丁寧に、丁寧に貼り付けていきました。一番大変だったところは、自然のものである葉や木の実は次の日になると乾燥し時間の経過と共にはがれてしまうことがあり、皆で作ったものが変わらないよう何度も貼り付けを行ったことです。

自由に好きなものを選び、貼り付けの作業を集中して取り組む中で「こうしたらいいのでは？」と試行錯誤して「これは○○○だよ」と明るく話してくれる姿が印象的でした。

子供たちの発想力や独自性には驚かされています。曜日を重ね、週末の金曜日にようやく完成へと仕上げました。

子供たちの個性を活かした個人ワークがグループでの活動として完成させ、できた作品は個性的で一つ一つの物語がとてもすてきでした。今後の作品にも期待し、また取材させていただける日を楽しみにお待ちしております。（冨山）

ちなみに……春に向け花壇作りを行い、チューリップの球根を植えたので花が咲くのもご期待ください。

一般就労者の現在（いま）

第2けやき作業所から 株式会社ホンダスタッフィングサービスに就職され半年を経過した**小室春菜**さん。ホテルツインリンクにてゲストルームの客室清掃（ベットメイク、浴室清掃、アメニティの整備、ゴミ捨て等）の仕事に従事しています。実習の時から拝見していますが、丁寧で手早い仕事にはいつも感心させられます。

いつも笑いを含みながら、ニコニコと話す小室さん。とても元気そうで安心しました。

お仕事は覚えることがいろいろあって大変ですが、しっかりと覚えたようで、テキパキと動いている姿は、ベテランさんのように見えました。職場の方とも仲良くなって、お昼はいつもおしゃべりをしながら食事をするそうで、とてもリラックスできると話していました。忙しくて大変なときもあるけど、辞めたいと思ったときはないそうです。素晴しいです。見習わなくては…。

どこに行きたいかはまだ決まっていないようですが、旅行に行けると良いですね！（北川）

―お仕事は楽しいですか？

楽しいときも辛いときもあります。ベットメイクの作業は楽しいですが、ソファーベットを組立てたり壊したりするのは重くて辛いです。忙しいですが仕事は嫌ではないです！

―ストレスの発散方法は？

家で犬と遊んだり、趣味で発散してます。

―趣味は？

ゲームです。「ぷよぷよ20ｾｶﾝthアニヴァーサリー」が好きです。チビプヨフィーバーが楽しいです。

―今、欲しい物は何ですか？

インターパークの「チチカカ」に売ってるアルパカのぬいぐるみが欲しいです！

―今年の目標は？

友達と旅行に行きたいです。出来れば泊まりがけで！

【こぶしづかん＝辛夷図鑑】こぶしの会に生息するゆかいな職員のおすすめの本を毎回ご紹介。

わたしのおすすめの本

こぶしづかん

「窓際のトットちゃん」
●黒柳徹子／著
●講談社文庫 760 円（税別）

子育てにはもちろん、仕事にも役立つヒントがあります

絵のかわいさに惹かれ中学生くらいの時に読み、大人になって再会した『**窓ぎわのトットちゃん**』。子どもが小学生になった時に本屋さんで見つけて購入したところ、お子さんからも「おもしろかった！」と好評だったそうです。

この本には黒柳徹子さんの小さいころのエピソードが書かれており、笑いあり涙ありの全て実話だそうです。

本編に登場する校長先生は「自分にはできないかもしれないけれど、こうなりたいという理想です。小さいころにこんな先生に出会えたら幸せだな。」という存在だそうです。「みなさんにもぜひ読んでほしい１冊です。」と力強く進めていただきました。（星宮）

近澤　麻紀
第２けやき作業所　職業指導員

「健康で文化的な最低限度の生活」
●柏木ハルコ／著
●小学館 /596 円（税込）

初心を思い出しました

入職して 18 年目になるベテラン東岡さんの紹介です。けやき作業所の厨房班に所属しており、惣菜作りや給食の配膳、介護食の調理等を行っています。

お子さんが電車好きで、月に一度は電車の旅にいくそうです。お正月には日本一短い鉄道と認定されてる「柴山鉄道」を訪れたそうです。

そんな東岡さんおススメの本は『**健康で文化的な最低限度の生活**』です。この本は主人公が福祉事務所に勤める新人職員が生活保護という難題に挑むお話です。読むキッカケとなったのは、ＮＨＫのニュース番組で生活保護の不正受給の問題が取り上げられ、その時にこの本が紹介されたのをキッカケに購入したそうです。読んだ感想を尋ねると「生活保護の情報が詳しく書いてあるので勉強になる。私も昔はこんな気持ちで働いていたことがあったわ！初心思い出すわ！」とのこと。初心に帰りたいという方にぜひオススメの本！みなさんもいかがでしょうか？

（阿久津）

東岡　裕紀
けやき作業所　支援員

誰もが納得できる人生にトライするため にわたしたちのしごとの意味がある 願いの実現という命題を困難にさせない 地域との関係づくりが必要なんだと思う

社会モデルを地域文化に（連載第20回）

高橋温美（こぶしの会常務理事）

芳賀分場でのKさんとの出会い

けやき作業所が増設され、こぶし作業所の芳賀分場（支所のようなもの）から一つの事業所へと転換した頃だったから15年程前になるだろうか。開所後、しばらくして一人の女性がけやき作業所を利用する様になった。Kさんである。何か暗くて強い反発力のある意志の塊のようなものを感じる人で、わたしたちの気持なぞ自分のテリトリーの中には入れないぞという雰囲気が充満していた。作業に参加しない訳ではないが、身を入れて打ち込んでいるようには見えないのだ。常に集団から距離を置き、一人背を向けているイメージである。しばらくして、一人の職員の働きかけから気持ちを一言ひとこと言葉に乗せてくるようになってきて、パン班のメンバーにも小さなみかんをもってきてくるなどの行動がでてきたころ、本人のとりまく生活環境も見え始めてきた。私とは相変わらず一切口を利かなかったが。Kさんから発散される重い石のよう心は、本人のたどってきたつらい歴史を表現していたもので、彼女の体中に見られる傷跡がその事を物語っていた。

こぶしの会の就労支援の産声が上がった瞬間

本人の施設利用の目的は「就職」の為のステップでありきっぱりとしていた。けやき作業所自体を軽蔑していて、ここ（けやき作業所）に居る事は本人にとって不本意なのである。当時の私たちは古い福祉作業所根性というのか、牧歌的というか、昨今の教育訓練的技術を身につけていなかったのが幸いしたか、とりあえずKさんの就職のために何ができるか職員と話し合い、関係する機関に相談したりもしたが埒があかず、とりあえずすぐに地域の実習先を探した。しばらくして就職が決まった。彼女の黙々と一心に仕事に打ち込む姿勢が社長さんの心を揺り動かしたのだろうか。

以来、今日まで就職先からは何の相談も無いが、仕事帰りコンビニで一服しているKさんの姿を良く見かける。私が話かけても、うなずいたりはするが、相変わらず対話は成立していない。

こぶしの会の就労支援はKさんから本格的に始まったと言っても過言ではない。障がいの重い人たちの労働参加には先駆的な実践を展開してきたこぶしの会だが一般就労への取り組みは薄かったようだ。当時の授産施設の一般就労移行者の全国平均が30名定員で、年間一人に満たないという状況であった。こぶしの会の作業所と比べると授産施設の利用者は相当能力の高い人たちだったので、当時の一般就労に対する全体の意識水準が伺い知れる。Kさんの就職をきっかけに、専任の職員もいない中で、利用者の就労意欲と就職先を手仕事的につなぎながら、ジョブコーチ、障害者プレ就業・生活支援センター（県単事業）の受託に、障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」の設置、宇都宮、上三川、県東圏域の5か所の就労移行支援事業の実施へと展開していくとともに地域の商工会や数々の企業との関係、中小企業家同友会、倫理法人会の企業主とのつながりも広げてきた。今は事業形態も内容も格段に発展してきている。

「願いの実現」という「命題」を叶えるための力が変化を生む

私たちの仕事は、「利用者のねがいを実現する」という簡単な事のようだが、これが一番難しい仕事だと思う。障がい（就労障がい）者問題は社会問題だから、新しい地域社会の関係をつくっていかなくてはならないからだ。私たちの就労支援はKさんのような「就職をしたい」という切実な願いを受け止めようとして共に伴走してくる中で形づくられてきたもので、その中で私たち職員自身や、地域が少しづつ変化してきたのかと思う。今、着実に「働く」を生きているKさんの姿を町中で見かけるたびに、私自身の生きがいのようなものをも感じさせてもらっている。

【企画】社会福祉法人こぶしの会【責任者】藤田勝春【編集責任者】高橋温美【編集】こぶしだより編集員会
【住所】〒320-0919 宇都宮市柳田町1401番地 【発行所】東京都世田谷区砧6-26-21 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価50円

こぶしの会事業所一覧

① 宇都宮市柳田町1401
□こぶしの会法人本部
028-613-3707 （F）028-666-6128
028-666-0418（居住生活支援事業部）

② 宇都宮市茂原町837-1
□こぶし作業所
028-653-1020 （F）028-688-1121
□障がい者生活支援センターこぶし
028-613-5703

③ 芳賀郡芳賀町祖母井2244
□けやき作業所
028-687-1040 （F）028-677-5789
□地域活動支援センター「ほっとCHA」
090-7820-9165
芳賀郡芳賀町祖母井1704-8
□第2けやき作業所
028-689-8301 （F）028-689-8302

④ 真岡市亀山1043-23
□セルプ・みらい
0285-81-1155 （F）0285-81-1177

⑤ 真岡市荒町3-9-5
□県東ライフサポートセンター真岡
0285-83-2567 （F）0285-85-8055
□お菓子工房 ピケ
0285-81-7091 （F）0285-81-7092

⑥ 真岡市荒町111-1
□県東圏域障害者就業・生活支援センター
「チャレンジセンター」
0285-85-8451 （F）0285-85-8452

⑦ 真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内
□芳賀地区障害児者相談支援センター
0285-80-7765 （F）0285-80-7765

⑧ 河内郡上三川町大字上三川5082-15
□上三川ふれあいの家ひまわり
0285-38-6821 （F）0285-38-6841
□上三川町障がい児・者生活相談支援センター
0285-38-6854
□アトリエ・ド・パン シュシュ
0285-56-7731 （F）0285-56-7732

⑨ 芳賀郡芳賀町西水沼438-2
□おらがそば茶屋
028-680-5091 （F）028-680-5092

～食べ過ぎたときの台所胃腸薬～

年末年始はどうしても暴飲暴食してしまいがち。ごちそう続きで悲鳴を上げている胃腸を昔から言い伝えられている手作りの台所胃腸薬でいたわりましょう。

弱った胃腸には「すりりんご＆煮りんご」。りんごには胃酸が少ないときには胃酸を増やし胃酸が多いときには胃酸を中和する働きがありますから、食べすぎ、飲みすぎなどで胃腸が弱っているときにはぴったりです。

胃もたれには生アロエ。アロエの抗炎症作用が胃腸の炎症を修復し胃腸を正常な状態にしてくれます。

下痢気味の時には梅酢。梅酢がないときは梅干し1個を2カップの水に入れ、半量になるまで煎じて飲む。

皆さんも台所胃腸薬試してみてはいかがでしょう？

【編集後記】

♥お正月はゆっくり過ごしリフレッシュしました。今年も健康第一で頑張りたいと思います。早寝、早起きも頑張ります！（布野）

♣新年を迎えて、気持ちも新たにという事で、私も今年の抱負を考えました。…ここで書いてしまうと、守れなかった時に怒られてしまうので書きません。でも、常に心に留めて守れるように努力する所存です。皆様、本年もよろしくお願いいたします。（北川））

◆冬は鍋が美味しい季節ですね。冬野菜を美味しく食べるためスーパーに行ってみるとたくさんの種類が並んでいます。どんどん増えてますね。手軽に食べられる鍋は片付けも簡単ですし仕事している人の味方だなぁとしみじみ感じます。（冨山）

♠書初めをみんなでやるなんて久々です。わくわくしながら何を書こうか考えた結果が「進」。何事においても精進して進める一年にしたいとの気持ちを込めました。ちなみにセルプ・みらいの事務所には職員の書初めが掲示中です。それぞれの方に書いた理由を聞いてみるのも面白いですね。（渡辺）

●おみくじを引いたら「大吉」でした♪残念ながら年末ジャンボは外れちゃいましたが、きっと良い1年になると信じています。本年もよろしくお願いいたします。（星宮）

■本当にまったく、笑っちゃうくらいに何ひとついいことがなかった２０１５年。こんなにも早く年が明けてほしいと思った年末も珍しい。今年は少しでもいい年になってくれればいいなあ…。まずは何といっても「１年でＪ２に戻ること！」ですね。（松本）

♣新年あけました！県内で巫女さんのレベルが一番高いと噂の宇都宮市平出にある「雷電神社」に行って来ました。この雷電神社が以外と穴場で参拝客も他の神社と比べると比較的に落ちついてるので、駐車場も満車になることなくゆったりと参拝することができました。今年はいいことがありますように！（阿久津）

◆新しい年を迎えるといろいろと振り返り考えてしまうもので。今年はよく省みて、これからのことに臨んでいきたいと思います。（菊地）